

シカの樹皮食害防止対策

シカによるカンキツ樹の樹皮食害被害が近年増加してきているため、物理的な樹皮の食害防止対策および樹皮食害後の樹勢維持対策について検討を行いました。



シカによる
樹皮食害被害

食害防止対策

- ・ 幹に針金および有刺鉄線を巻きつけることで物理的に食害を防止します。
- ・ 有刺鉄線が一番効果が高かったが、針金の方が安価で経済的でした。
- ・ 主幹、主枝1.5mおよび第一亜主枝に処理した場合の1成木当りの資材費は、針金87円、有刺鉄線792円でした（使用量19m/樹、H19）。



針金の巻き付け方

シカ食害程度および資材費 (H19)

処理区	被害程度(5樹平均)		1樹当り	
	16日後		使用量	資材費(円)
針金巻き付け	1.4		500cm	23
有刺鉄線巻き付け	1.2		384cm	160
無処理	4.2		—	0

樹勢維持対策

- ・ シカによって食害を受けた部分に樹脂製塗布剤（メイカコート）を塗り、その上からアルミ箔で被覆すると樹皮の再生程度が高くなりました。

樹皮再生面積割合

処理区	樹皮再生面積割合 (%)
① トップジンMペースト	52.0
② パッチレート	43.5
③ メイカコート	76.8
④ トップジンMペースト+アルミ箔被覆	74.6
⑤ パッチレート+アルミ箔被覆	58.2
⑥ メイカコート+アルミ箔被覆	97.2
⑦ 無処理	22.4

トップジンMペースト +アルミ被覆 **メイカコート +アルミ被覆** 無処理



処理105日後の樹皮再生程度

※カンキツ樹の主幹の樹皮部分を剥皮(7.4cm²:1処理1カ所/樹)し、剥皮部分に上記に処理を行い、処理105日後に調査を行った。